

## 平成24年度 第17回 役員会議事要旨

日 時 平成24年11月14日（水） 10時30分～11時39分

場 所 学長室

出席者 学長，瀬口理事，中島理事，岩本理事，緒方理事

欠席者 宮崎理事

陪席者 向井監事，後藤学長室長

○学長から，平成24年度第15回及び第16回役員会議事要旨の確認依頼があった。

### 【 審議事項 】

#### （ 一括審議事項 ）

学長から，10月10日及び24日開催の役員会，並びに10月31日開催の経営協議会，さらに11月9日開催の教育研究評議会において，協議及び審議了承された2案件について，一括審議する旨の説明があった。

次いで，総務課長から，一括審議事項の概要について次のとおり説明があり，審議の結果，2案件とも了承された。

#### （1）国立大学法人佐賀大学職員給与規程の一部改正について

本件は，全学教育機構副機構長と産業医を職務付加手当の支給対象とすることに伴い，所要の改正を行うもの。

#### （2）佐賀大学学則の一部改正について

本件は，平成25年4月1日からの全学教育機構による教養教育の実施による本学の教育課程の見直しに伴い，所要の改正を行うもの。

#### （3）平成25年度学年暦及び年間行事予定表（案）について

学務部長から，平成25年度学年暦及び年間行事予定表（案）について，前回の役員会において協議した内容から，さらに英語能力試験の日程が確定したため修正を行い，再度，資料として提出するものである旨，また先の教育研究評議会です承されている旨の説明があり，審議の結果了承された。

(4) 佐賀大学学生の懲戒に関する規程の一部改正について

学務部長から、本件は、懲戒に相当すると思われる学生の行為が複数の学部にあたる場合の調査委員会の設置について必要な事項を定めるため、所要の改正を行う案件であり、10月10日の役員会で協議され、10月19日の教育研究評議会で審議されたところであるが、同評議会の構成員から、学部と研究科にまたがる場合に対応した文言に修正すべきとの意見を受け、関係部署において調整をおこない、1) 研究科の学生についての準用規程の整備、2) 事案が複数の学部若しくは複数の研究科又は学部及び研究科にあたる場合の調査委員会特例の規定の整備、その他条文の整備を行った旨の説明があり、審議の結果了承された。

(5) 国立大学法人佐賀大学におけるインスティテューショナル・リサーチ室の運用に関する内規の制定について

学長から、本件について、国立大学法人佐賀大学IR室設置規則第7条の規定に基づき、IR室におけるデータの収集・管理・提供及びそのために必要な情報システムの構築・運用等(IRの運用)について必要な事項を定めるものである旨の説明があり、審議の結果了承された。

また、IRの運用上の新たな課題や、内規に変更の必要性や疑義が生じた場合等は、IR室での検討を経て、学長が裁定することとする旨の発言があった。

(6) 国立大学法人佐賀大学と佐賀大学生生活協同組合との災害時における相互協力に関する協定について

学長から、本件は、災害時に、飲料、食料その他生活必需物資の提供等を受けることを可能にするため、本学と佐賀大学生生活協同組合が災害時における相互協力に関する協定を締結する案件である旨の説明があった。

また、総務部長から、提案のポイント等として、飲料及び食料の提供等に係る費用負担の取り扱いや全国での締結大学の事例等の説明があり、審議の結果了承された。

さらに、学長から、本学の土地柄から、大雨洪水による冠水が一番に想定される災害であるだろうこと、一箇所との協定だけに頼るのではなく更なる拡充が望まれること、今後、本学として災害時の備蓄品等が必要となるため、それら備蓄品目のリスト等を精査し、可能な限り準備に着手してほしい旨の発言があった。

(7) 第1回佐賀大学学長招待講演会の実施について

総務部長から、本件は、平成24年6月27日開催の役員会において、学長招待講演会実施要項を審議・了承済のものであり、今回、第1回目となる講演会を平成24年12月13日(木)16時20分から、理工学部6号館にて、国立大学法人東京外国語大学長である亀山郁夫先生を招待し

て実施することについて了承を得るものである旨の説明があり、審議の結果了承された。また、講演謝金の実施経費については、諸経費を含めて30万円とすることが併せて、了承された。

また、講演開催については、本学教職員や学生をはじめ、大学コンソーシアム佐賀関係者、産学官包括連携協定機関、本庄地区自治会へも案内をすること、合わせて関係各位への参加の依頼があった。

(8) 寄贈に伴う感謝状の贈呈について

学長から、本件は、韓国コンテンツ学会会長であるオーヨンサン氏から平成24年12月開催のICCC2012の共催を記念して、ウンジョン氏作の韓国屏風寄贈の申し込みがあり、その寄贈に対し、感謝状の贈呈を提案するものである旨の説明があった。

また、総務部長から、本件について、中島理事から提出された推薦理由及び本学感謝状贈呈規程第2条第1項第1号の「本学の運営のために一定額以上の寄附又は寄贈を行った者」に該当する旨等の補足説明があり、審議の結果了承された。

(9) その他

特になし。

**【 報告事項 】**

(1) 佐賀大学顧問懇談会の開催について

総務課長から、本件について、12月14日（金）16時から、学長室にて開催する旨及び開催の趣旨、予定議題等について説明があった。

(2) 平成23事業年度に係る業務の実績に関する評価結果について

岩本理事から、本件について、11月7日付で国立大学法人評価委員会から、項目別の評価結果4項目すべてにおいて、本学は「順調」である旨の確定報告があったこと、また、評価結果の分析として、「特筆すべき進捗状況にある」と評価された項目のある法人や「重大な改善事項がある」と評価された項目のある法人などについての概要説明及び本学としては教育面及び研究面で更なるポイント向上を目指していかなければならないとの発言があった。

また、学長から、各理事室等に対し、本学の個性・特色として伸ばせる事項について、今後2～3年で結果を出すよう、取組事項を検討してほしい旨の依頼があった。

(3) 「大学ポートレート（仮称）」の対応について

岩本理事から、本件について、大学ポートレート（仮称）についての趣

旨及びこれまでの検討経緯について説明があった。

また、先行実施として、大学評価・学位授与機構において平成24年度学校基本調査のデータを整理のうえ、平成25年3月を目途にウェブサイト上において公表することが想定されており、本学としては、提供依頼があった項目全てを提供することとしており、学内関係部局に協力を依頼していることの報告があった。

(4) 日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会について

研究協力課長から、本件について、12月7日(金)14時から理工学部6号館において「高齢化社会の健康と医療技術」と題し、3つの演目で講演会を開催する旨の案内があり、合わせて関係各位へ参加依頼があった。

また、講演会開催前には、附属図書館会議室において、平成24年度日本学術会議九州・沖縄地区会議主催の科学者懇談会が開催される旨の報告があった。

(5) 平成24年度就職内定状況について(10月1日現在)

就職支援課長から、本件について、対前年度同時期比の学部で1.3ポイント増、大学院で5.7ポイント増、総計で2.5ポイント増となっている旨及び各学部等における対前年度比の増減等の内容について、詳細な報告があった。また、医学部及び医学系研究科に関する数値は含まれていないこと、資料内の区分欄「その他・不明」について、対象となる者の内訳について説明があった。

学長から、文化教育学部のデータは今後増加するものであろうが、首都圏への教員採用にも挑戦してほしいこと、また経済学部の数値が気がかりであり、ミスマッチ等の要因が考えられるのではないかとの発言があった。

(6) その他

- ・学術研究協力部長から、留学を経験した学生の報告会について、学生の発表例が貴重な体験談として、参加した高校生等にも好評であったこと、本学が予算措置して取組んでいる留学のため支援制度が、今後よい効果をもたらすことが期待される等の報告があった。
- ・学務部長から、10月に行った「学生マナーアップ推進運動」について、学生アンケートを行い341名の学生から回答あり、マナーアップの取組みについて、概ね好意的な意見であったこと、今後もこの活動を続け、更なるマナー向上につなげていきたいこと等の報告があった。

【 その他 】

特になし。

以 上